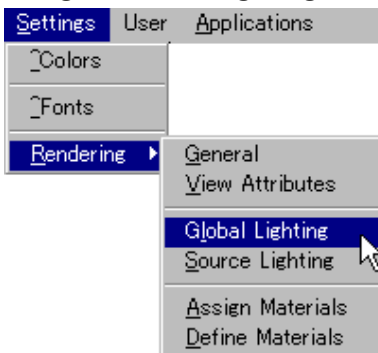


Rendering Mode

PDS7.0では画面をレンダリングしたままで、画面範囲の移動ほかPDS上の操作を行うことが可能となりました。

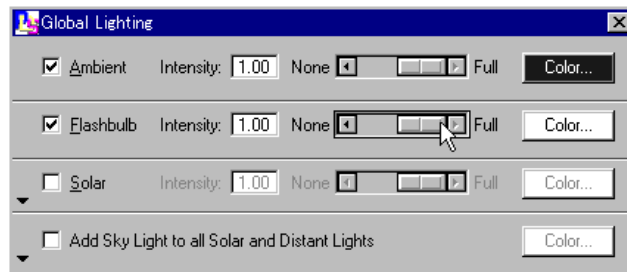
1. 明度の設定

メニューの Setting Rendering Global Lighting を選択します。



ウインドウが表示され、レンダリングの明るさ、色の設定などが行えます。

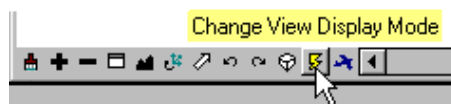
たとえば Ambient、Flashbulb のスクロールバーを Full に Ambient の Color をより明るい色（中間のグレーくらい） に設定します。



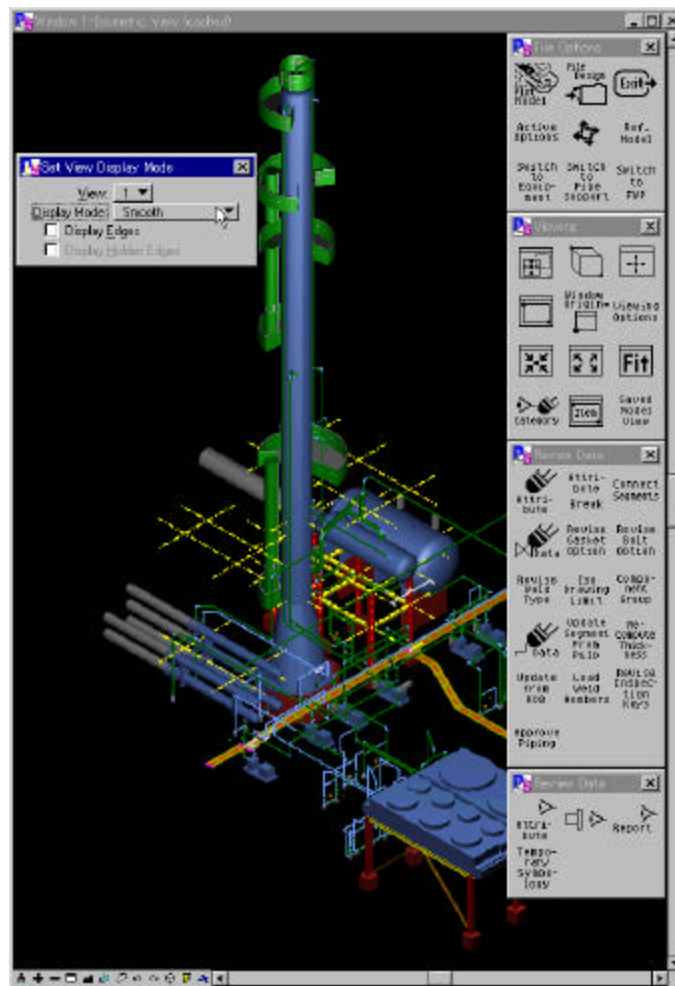
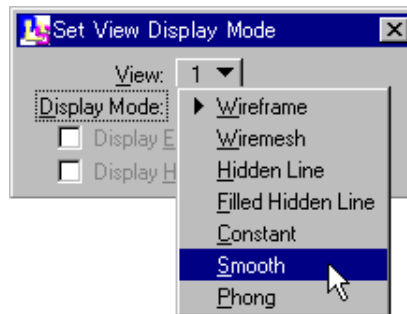
2. Display Mode の設定

View の Display Mode を設定します。

まず MicroStation の各画面のアンダーバーから Change View Display Mode ボタン（右から 2 番目・黄色のボタン）を選択します。

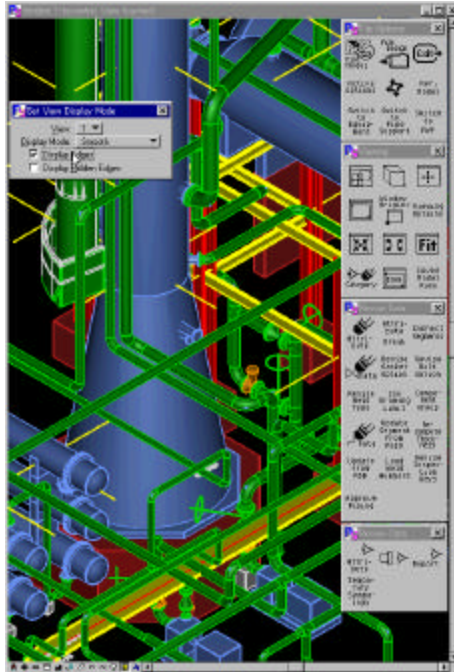


Set View Display Mode というウィンドウが表示されます。ここで Display Mode を Wireframe から Smooth に切り替えるとレンダリングされます。



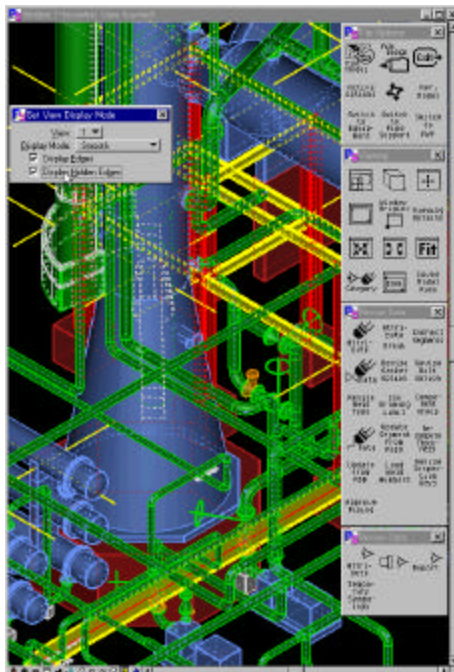
Display Edges

Set View Display Mode 画面で Smooth を選択する際に、Display Edges の項目をチェックすると、配管や部品の輪郭が表示されます。



Display Hidden Edges

同様に Display Hidden Edges をチェックすると、陰線処理されていた背面のオブジェクトや、配管のセグメントが点線で表示されます。



3 . レンダリング設定の保存

これらの View の設定を、次回 PDS を起動したときにも使えるように保存しておくことができます。

メニューの File File Options から File Options のパレットを表示させ、File Design ボタンで保存します。

